

エネルギー消費量

	2022年度 (MWh)	保証
燃料	161,876	✓
地域冷暖房(DHC)	11,982	✓
購入電力量*	152,185	✓
エネルギー消費量合計*	326,043	✓

*エネルギー消費量合計には以下の再生可能エネルギーの活用量を含まない

再生可能エネルギーの活用量

	2022年度 (MWh)	保証
オーナーが管理: 敷地内で消費	12	✓
オーナーが管理: 敷地外に送電(売電含む)	1,827	✓
テナントまたは第三者が管理	-	
再エネ発電量(敷地内) 合計	1,839	✓
オーナーが管理: 第三者から購入	75,255	✓
テナントが管理: 第三者から購入	7,937	✓
第三者から購入電力量 合計	83,192	✓
再生可能エネルギーの活用量 合計	85,031	✓

GHG排出量

	2022年度 (千t-CO ₂)	保証
Scope1	26	✓
Scope2 (マーケット基準)	0	✓
Scope3 (カテゴリー：13) *	73	✓
Scope1 & Scope2 & Scope3 GHG排出量 合計	98	✓

*テナント管理資産に係る燃料・電気・DHC

*Scope3 (カテゴリー：13) の73千t-CO₂は、152,103MWhの電力及びその他の燃料に由来している。

水消費量

		2022年度 (千m ³)	保証
水消費量	合計	927	✓

エネルギー消費原単位

	2022年度 (MWh/m ²)	保証
エネルギー消費原単位	0.33	✓

GHG排出量原単位

	2022年度 (t-CO ₂ /m ²)	保証
GHG排出量原単位	0.07	✓

水消費量原単位

	2022年度 (m ³ /m ²)	保証
水消費量原単位	0.63	✓

保証対象指標一覧及びクライテリア(算定基準・方法)

- I. 算定期間: 2022年度(2022年2月1日～2023年1月31日)
II. データ収集範囲: 産業ファンド投資法人(産業ファンド投資法人が保有する物件。底地のみは除外。)
III. 保証対象指標及びクライテリア: 下記参照。

項目	内容	定義・算定方法等
エネルギー消費量	燃料(都市ガス・A重油・軽油・灯油)消費量 地域冷暖房(DHC)消費量 電気消費量	エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法) 地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) <換算> 燃料消費量／地域冷暖房消費量＝請求書の値×熱量換算係数 ^{*1} ×エネルギー換算値
再生可能エネルギーの活用量	再生可能エネルギー電気の消費量	再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法(再エネ法) ・敷地内における太陽光発電量: 当社管理の計測データ等に基づき集計 ・第三者から購入電力量
エネルギー消費原単位	エネルギー消費原単位	エネルギー消費量÷Σ補正延床面積 ^{*2}
温室効果ガス(GHG)排出量	Scope1、Scope2、Scope3排出量	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法) 地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) 温室効果ガス排出量＝エネルギー消費量×GHG排出係数 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン
温室効果ガス(GHG)排出原単位	温室効果ガス(GHG)排出原単位	温室効果ガス排出量÷Σ補正延床面積 ^{*2}
水消費量	水消費量	水道局からの請求書に基づき集計
水消費原単位	水消費原単位	水消費量÷Σ補正延床面積 ^{*2}

*1 都市ガス: 各ガスの熱量換算係数MJ/m³, A重油: 39.1MJ/l, 軽油: 37.7MJ/l, 灯油: 36.7MJ/l

*2 補正延床面積: 毎月末の契約書に基づく総延床面積(m²)を入居率で補正した年間平均面積

※準共有持分を保有する物件についても、物件全体に係る面積を算定に使用しています。